



2003年08月26日

フォルクスワーゲン ルポ GTI カップ ジャパン2003第4戦(美祿)リザルト 壺林選手シリーズ2勝目獲得

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、JAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイクレース、「フォルクスワーゲン ルポ GTI カップジャパン 2003」(以下:LCJ)の第4戦が、8月24日(日)、MINEサーキット(所在地:山口県美祿市)にて開催されました。

フォルクスワーゲン グループ ジャパンは現在「ブランドの変革」を推進しており、LCJによってその若々しく革新的、かつダイナミックなブランドをサーキットからも発信していくことを目的としています。
また、LCJは2カテゴリー制(初心者向けの「クラブマン」と、上級者の「エキスパート」)で実施されています。

決勝戦は、真夏の強い日差しが照りつけ、車両、ドライバー共に過酷なコンディションの中、1周約3.3kmの国際レーシングコースを10ラップする約33kmのレースとして行われました。エキスパートクラスでは、今季第1戦(筑波)で優勝を飾った壺林選手(CRT Lupo GTI)が、決勝レースをセカンドグリッドからスタート。その後レース中盤に、シリーズ暫定トップの坂本選手(Team DUO Lupo)とサイドバイサイドの激しいトップ争いを演じパスすると、その後の坂本選手の追い上げを退き、今季2勝目を飾りました。一方のクラブマンクラスは、前回初優勝を飾った増淵選手(ルポ i-MAGIC&afimp)がその勢いに乗り、2戦連続となる優勝を飾りました。尚、レース中のベストタイムは坂本選手(Team DUO Lupo)の1'54"909でした。

第4戦を終了した時点でのシリーズポイントトップは「エキスパート」クラスで坂本選手が93P。壺林選手が今回の優勝により3P差の90Pと僅差で続いております。「クラブマン」クラスでは、増淵選手が46Pで現時点でのトップに躍り出ました。

シリーズ最終戦となる第5戦は富士スピードウェイ(静岡県駿東郡)にて、9月13日(土:予選)、14日(日:決勝)に開催されます。

第4戦:決勝公式結果

決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間	決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間
1	Ex-2	90	壺林貴也 CRT Lupo GTI	19'28"956	6	Cl-1	46	増淵栄男 ルポ i-MAGIC&afimp	19'43"164
2	Ex-1	93	坂本祐也 Team DUO Lupo	19'29"407	7	Cl-2	13	島下泰久 ACデルコ・モーターマガジン	19'51"695
3	Ex-3	18	又多睦 弘 フォルクスワーゲン金沢	19'33"507	8	Cl-7	13	後藤 稔 日本バーカライジングルポ GTI	20'01"240
4	Ex-5	36	平松宏隆 サーラレーシング	19'37"614	9	Cl-6	6	阿野安雄 ソープボックスルポGTI	20'02"628
5	Ex-4	59	梅津則子 ピースクルー	19'38"229	10	Cl-4	4	マーティン ビスウルム VW Lupo GTI	20'07"161

VOLKSWAGEN *Racing*

ADVAN

Castrol

NEBRITA RACING

VOLKSWAGEN Japan

SACHS

BELT OF

CHOROQ

Lufthansa

JTB

HEAD
twentyfour seven

NESCAFÉ

COX

NPSM
NEW PACIFIC SPORTS MARKETING INC.

VOLKSWAGEN Tokyo